

# 教育研究業績書

2020年10月27日

所属：健康・スポーツ科学科

資格：准教授

氏名：村越 直子

研究分野	研究内容のキーワード
ソマティクス, ダンス, 臨床教育学	ソマティクス, モダン・ダンス, コンテンポラリー・ダンス, ダンス専門教育, 臨床教育学
学位	最終学歴
臨床教育学博士	武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科 博士後課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 西宮大学交流センター単位共通講座オリジナル科目	2011年4月～現在	2011年より西宮10大学単位共通講座のセンターオリジナル科目を、コーディネーター兼講師として担当している。
2. 神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻	2010年4月～2014年3月	非常勤講師 モダン・コンテンポラリーダンスを担当した。
3. カナダ国立アートセンターにおけるModern Dance Workshop	2007年3月	National Arts Centre, Ottawa(カナダ国立アートセンター)において、ダンスワークショップの講師としてモダン・ダンスのレッスンをを行った。
4. 神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻	2006年4月～2010年3月	専任講師としてモダン・コンテンポラリーダンス実技、舞踊史、アナライズ・クラス、ソロリサイタル(作品創作)を担当した。
5. Hart House, University of Toronto	2003年2月～3月	カナダのトロント大学のハートハウスにおける公開講座「Mitzvah Technique」を、臨時講師として担当した。
6. Modern Dance Master Class	2001年9月	Peterborough New Dance (Canada) からの依頼により、Trent University では芸術専攻学生に、また、Market Hall Theatre においては一般公開のマスタークラスを行った。
7. York University, Faculty of Fine Arts, Dance Department,	2000年1月～2006年3月	Course Director として、Modern Danceの授業を担当。
<b>4 その他</b>		
1. 武庫川女子大学附属高校ダンス部との連携	2018年4月1日～現在	武庫川女子大学附属高校ダンス部と連携を強化し、大学ダンス部の定期公演における出演、ダンス部主催のワークショップに高校生が参加、定期的な合同レッスンの実施など、部活動においての交換の場を広げている。
2. Shahar Binyaminiによるクリエイションワークショップ	2016年9月11日～2016年9月25日	元バットシェバ舞踊団プリンシパルダンサーのシャハー・ビンヤミニ氏が本学ダンス部にダンス作品を創作する企画を実施した。2016年12月の第48回ダンス部定期公演(会場：ピッコロシアター)でその成果を発表した。
3. Gaga ワークショップの開催	2016年9月、2014年9月	イスラエルを代表する振付家オハッド・ナハリンが生み出した身体技法Gagaの講習会(主催：A-core dance、Gaga Movement 後援：イスラエル大使館)を、本学で開催した。講師は、元バットシェバ舞踊団のプリンシパルダンサー、シャハー・ビンヤミニ氏が担当した。
4. 海外スポーツボランティアプログラムの開発	2016年4月～現在	2015年に「さらなる大学教育の質向上のために」教育改革・改善プランにグループで応募した「海外スポーツボランティアプログラムの開発(代表：松本裕史准教授)」が採択された。メンバー(伊東太郎、村越直子、N.J. ルドルフ)として、フィリピン、セブを拠点に活動するセブン・スピリットに協力を得て、プログラムの開発を進めている。
5. ラバン・ムーブメント・アナリシス講習会	2016年11月～2017年5月	ダンス研究とダンス教育で活用されている、ラバン・ムーブメント・アナリシス(動作分析)とパーティニエフ・ファンダメンタルズの講習会を開催した。本学教員、学生、OGをはじめ、地域の教員やボディワーカーが参加した。
6. ダンス部部长	2015年4月～現在	

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. Mitzvah Technique 認定教師	2008年5月	カナダでネヘミア・コーヘン氏によって開発された姿勢法：ミツヴァテクニクの指導資格
<b>2 特許等</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 大阪府教育庁教育振興室 子どもの体力づくりサポート事業 「めっちゃWAKUWAKUダンス」普及促進	2016年8月～2016年12月	大阪府教育庁からの依頼を受け、豊中市立桜井谷小学校に、子どもの体力づくりサポート事業の一環として「めっちゃWAKU WAKU ダンス」を指導を行った。
2. 平成27年度猪名川町生涯カレッジ「リバグレス猪名川」	2016年2月6日	平成27年度猪名川町生涯カレッジ「リバグレス猪名川」の講師として、「生活の美」をテーマにした講義を行った。
3. 第15回兵庫県高等学校春季ダンスコンテスト 審査員	2016年2月20日	兵庫県高等学校体育連盟ダンス部の依頼で、兵庫県高等学校春季ダンスコンテストの審査員をした。
4. 第57回大阪高等学校創作ダンス発表会	2016年11月13日	大阪高等学校保健体育研究会の依頼で、第57回大阪高等学校創作ダンス発表会に出席し、出品作品に関しての講評を行った。
5. 平成27年度 兵庫県高等学校体育連盟ダンス部選手強化育成事業・実技講習会 講師	2015年8月25日	兵庫県高等学校体育連盟ダンス部から依頼を受け、選手強化育成事業・実技講習会の講師として、県内の高校生を指導した。
6. 全日本小中学生ダンスコンクール西日本地区大会 ボランティア	2015年8月18日～8月20日	朝日新聞主催の全日本小中学生ダンスコンクール西日本地区大会が本学で開催される際に、学生ボランティアを募って大会を支えた。
7. 兵庫県教育委員会 平成25年度中学校教員武道・ダンス指導力向上事業「学習指導要領に対応したダンス学習の指導法」講師	2013年8月8日2013年11月29日	兵庫県教育委員会より依頼を受け、宝塚市（8月）但馬地区（11月）で、中学校教員武道・ダンス指導力向上事業「学習指導要領に対応したダンス学習の指導法」において講習した。
8. 第22回野外アートフェスティバル in にしのみや～きずな～	2013年10月7日	主催：西宮市文化振興財団 野外コンサート「ダンス・モザイク」を監修した。 会場：西宮市役所前六湛寺公園
9. 第12回西宮大学交流祭 キャンドルナイト	2012年12月16日	主催：西宮市、西宮大学交流協議会 西宮北口ACTA2階の円形デッキにて行われた大学交流祭「キャンドルナイト」の制作コーディネーターを務めた。
10. 第21回野外アートフェスティバル in にしのみや～きぼう～	2012年10月8日	主催：西宮市文化振興財団 大学生を中心としたダンスパフォーマンス「ダンス・モザイク」を監修した。 会場：西宮市役所前六湛寺公園
11. ダンス甲東園	2011年12月	主催：株式会社双葉化学商会 ナチュラルダンスアートの舞台と、実践に大学生ダンサー達を交えた企画をコーディネートした。 ①ダンス公演、②ダンス指導法ワークショップ、③高齢者施設へのアウトリーチを実施。
12. 第20回野外アートフェスティバル in にしのみや～つなぐ～	2011年10月	主催：西宮市文化振興財団 ミニ・コンサート「ダンス・モザイク」の監修をした。 会場：西宮市役所前六湛寺公園
<b>4 その他</b>		
1. ニューヨーク大学 Steinhardt 校訪問研究員	2019年9月1日～2020年8月31日	ニューヨーク大学 Steinhardt 校訪問研究員として、同大学院の施設を活用、聴講、授業実践への参加、教授らの助言を受けながら、ソマティクスとダンスの研究を進める。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. Changing Japanese Identities in Multicultural Canada	共	2003年	Centre for Asia-Pacific Initiatives, University of Victoria	ビクトリア大学（カナダ）が発行した単行本(Eds. Kess, Joseph F., Noro, Hiroko, Ayukawa, Midge M., Lansdowne, Helen., [et al].)のなか、Culture-Related Gender Issuesの項を担当した。 執筆箇所（単著） Naoko Murakoshi "Japanese Dancer in the view of Canadian Artists" pp. 303-308. カナダにおける舞台芸術活動において、日本人女性であるというアイデンティティがキャストイングや、作品、創作過程にどのような影響を及ぼしているかについて、カナダ人クリエイターや観客の持つ先入観がパフォーマー本人のなかでどのように演技を左右しているのかをカナダ人アーティストへのインタビューを通じて考察し、社会が形成する先入観の芸術分野における問題点を指摘した。
<b>2 学位論文</b>				
1. ソマティクスとダンス専門教育をつなぐ実践と思想—ダンサーが経験する哲学的動揺—	単	2019年03月	武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科臨床教育学専攻	欧米のダンス専門教育においては、ソマティクスがカリキュラムに取り入れられている。本論では、まず、ソマティクスが学問領域として形成される過程を、ダンサーたちの実践と結びつけて整理した。その上でダンサーがソマティクスを自身のトレーニングに統合する際に起こる困惑や葛藤を哲学的動揺とよび、ダンサーの専門性に関わりを持つものとして位置づけた。そして、日本のダンス教育において広まりつつあるソマティクスについて、ダンサー・ダンス指導者たちの語りをもとに実践上の課題を提起

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2 学位論文</b>				
				した。
<b>3 学術論文</b>				
1. ソマティック・エデュケーションがダンス専門教育にもたらした影響と課題—ダンサーとダンス指導者の語りにもみる困惑と葛藤を手がかりに— (査読付)	単	2018年3月	日本臨床教育学会 臨床教育学研究 第6巻 pp. 89-107	ソマティック・エデュケーションの受容過程において、ダンサーとその指導者に引き起こされる困惑や葛藤とその意味について、哲学的動揺という視点から考察を行った。
2. ソマティクスの思想・研究・実践の到達点と臨床教育学 (査読付)	単	2018年03月	武庫川女子大学大学院 臨床教育学研究科 臨床教育学研究 第24号 pp. 1-14	ソマティック理論を展開したハナの実践をたどり、ソマティクス研究の基盤とその独自性を示した。ソマティクス研究で深められている「からだ」理解と、そこに浮かび上がっている課題について検討し、それらが臨床教育学と重なりを持つものとして考察した。
3. 姿勢の感覚と自己の育ち —ソマティック・エデュケーションの紹介とその意味の検討	単	2014年11月	臨床教育学研究科開設20周年 記念論文集 pp. 173-191	「からだの使い方の吟味」によって主体的な学びの道筋を示すソマティック・エデュケーションの系譜とその主たる概念をまとめた。その上でその実践者の語りから自己の育ちを軸とした技法の本質的な意味の検討を試みた。
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
<b>2. 学会発表</b>				
1. ダンス教育におけるソマティクス実践の現状と課題	単	2017年10月21日	日本臨床教育学会 第7回研究大会	ダンサーやダンス指導者が牽引してきたソマティクス実践について、これまでの実践と研究から導き出された課題について発表した。
2. ダンサーにおける困惑・葛藤とその意味—ダンス・トレーニングとソマティクスの間で—	単	2016年9月24日	日本臨床教育学会 第6回研究大会	日本人ダンサーがソマティクスに触れ、その概念を取り入れダンサーとしての専門性を高めようとする場合に起きる困惑・葛藤について考察を行った。ダンス教育とソマティクスをつなぐ過程に起こる問題を、ダンス指導者とダンサーたちへの聴き取りと先行研究とを照らし合わせて発表した。
3. The Improving Effect of Gyrotonic Expansion SystemR on the Performance of Female Gymnasts	共	2016年10月24日	IADMS 26th Conference International Association of Dance Medicine and Science	ジャイロトニックエクспанションシステムを使用したエクササイズが体操選手の演技にもたらす影響について発表した。北島見江が総括、村越直子：データ収集及び解析補助を担当した。他、東出益代、藤井瑠璃、森山尚子ロビンスの共同研究。データ収集と解析をグループで行っているため担当範囲は限定できない。
4. 姿勢の感覚と自己の育ちをめぐる一考察 —日本におけるミツヴァ・テクニクの実践から—	単	2014年9月27日	日本臨床教育学会	日本におけるミツヴァ・テクニクを実践者たちの語りから、ミツヴァ・テクニクがダンスへ及ぼした影響が、からだの内部の「葛藤」として表れた現在バレエ教師のAさんと、ミツヴァ・テクニクが意味する「からだの再教育」が具体的に表現されていたBさんの語りを紹介し、この2つの語りから、ミツヴァ・テクニクの持つ特質と、そこで培われる姿勢の感覚と自己の育ちという側面から考察を付け加えた。
5. オハッド・ナハリンが開発したGagaがダンスとダンス教育に問いかけるもの—テルアビブでの聴き取りに基づいて—	単	2014年11月29日	舞踊学会	パットシェバ舞踊団芸術監督オハッド・ナハリンが開発した動きのメソッドGagaは、今日世界中のダンサー、ダンス教師に優れたダンス教育として注目されている。2013年に行なったナハリンからの聴き取りより、Gagaの基軸となる考え方について考察を行った。
<b>3. 総説</b>				
1. ミツヴァ・テクニク (Mitzvah Technique) に始まったソマティクスへの関心	単	2016年6月	舞踊学会 ニューズレター第10号	カナダで開発されたソマティクス、ミツヴァ・テクニクを学びながら現役ダンサーとして踊っていた自身の経験を振り返り、現在の研究関心と、ダンス教育についての問題意識をまとめた。
2. 北米で始まったソマティクス研究—それが臨床教育学に示唆するもの—	単	2016年3月31日	日本臨床教育学会、臨床教育学研究 第4巻 p. 146 - 153	アメリカ哲学者であるトーマス・ハナが唱えたソマティクスという研究領域について、北米におけるその後の研究動向をまとめ、臨床教育学との関わりを考察した。
3. コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。—元パットシェバ舞踊団ダンサー、シャハー・ビンヤミニの講演から—	単	2015年11月16日	武庫川女子大学 生活美学研究所紀要 第25号 p. 7-17	2014年9月に行われた生活美学研究所主催のダンサーであり、振付家でもあるシャハー・ビンヤミニの講演会を基に、イスラエルで開発された動きの技法である「Gaga」の説明と、生活美学研究所2015年度の研究テーマに沿って、「きらめく身体」についての論考をダンス教育の視点からまとめた。
4. The Blending of Cultures	単	1995年	The Canada-Japan Business review, May-June 1995. Vol. 1 発行 T. Iwasaki & Associates Ltd.	カナダと日本をつなぐ経済情報誌 (年6回発行) に掲載された。 Dance Canada '94 Plus One の内容とそれに参加したトロントダンスシアター日本初公演について、日本の観客の反応などを含めて書いた (英文)。 Naoko Murakoshi (単著) pp. 27-29

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>3. 総説</b>				
5. 季刊情報誌 オーロラ	共	1995年～2002年	カナダの季刊情報誌 オーロラ 発行所 RORA (トロント ・カナダ) 代表者 平塚かずよ	「ダンス・ダンス・ダンス」を担当し執筆した。村 越直子 (単著) 第13号「モダン・ダンスとは？現代社会の今」p. 15 第14号「ハードです。だけど楽しいツアー」p. 31 第15号「ダンサーの三つ目の顔 コレオグラファー 」p. 25 第17号「『踊ることが生きること』 トロントダンス シアターのこと」p. 36 第18号「国際創作舞踊コンクール」p. 37 第19号「ダンスと映画」p. 30 第21号「日加共演プロジェクト『Junction+』」pp. 3 0-31 第22号「インドで踊り、考えた事」pp. 24-26 第23号「ダンサーとダイエット」p. 37 第24号「セレネ・イン・ジャパン」p. 38 第25号「踊り手にも衣装」p. 35 第26号「ダンサーとカンパニー」p. 18 第28号「サイトウ・キネン・フェスティバル」pp. 20 -21 第30号「創造とエネルギーの街 元気になりたい時 はニューヨーク」p. 22 第35号「ロス・マンソン演出の芝居に初めて出て」p .28 第39号「スイスイ、タンゴを踊りたい」p. 18
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
1. 「Lifetime Achievements of Dan ces」	共	2020年1月26 日	主催：Dance Ontario 会場：Fleck Dance The atre, Toronto, Canada	Lifetime Achievements Award を受賞したAllen Kae ja とKaren Kaeja の作品に、ダンサー・コラボレー ターとしてソロを演じた。
2. Global Water Dances-NY	共	2019年9月21 日	主催：Global Water Da nce 会場：East Riverside Park, New York, USA	ソマティック実践者・研究者であるDr. Martha Eddy が主宰者となっている地球規模のダンスイベントに ダンサーとしてパフォーマンスを行った。
3. オペラ「エツォ」	共	2019年8月31 日	主催：Vivavaa Opera C ompany、講演：武庫川 女子大学音楽学部 会場：伊丹アイフォニ ックホール	ヘンデル作曲のオペラ「エツォ」の振付を担当し た。指揮・演出：大森地塩、オーケストラ：Baroq ue Ensemble V O.C. on period instrument
4. 「La Citta Sommersa」	共	2019年12月8 日	Florence to New York Project 会場：Loewe Theatre, New York, USA	ニューヨーク在住のダンサー・振付家であるDouglas Dunn演出、Alfonso Belfiore作曲の作品「La Citta Sommersa」にダンスパフォーマンスとして出演した。 主催：ニューヨーク大学 New Music Ensemble
5. 「ちとにく」	共	2018年09月1 6日	第21回少人数による創 作ダンスコンクール A RTISTIC MOVEMENT IN T OYAMA 2018	指導した作品「ちとにく」が特別賞を受賞した。
6. 第74回全国舞踊コンクール 優秀 指導者賞	共	2017年5月30 日	東京新聞主催全国舞踊 コンクール	「検索履歴：羽 伸ばせない」の指導に対して、優 秀指導者賞を受賞した。 村越直子、東出益代、山田知世
7. 「検索履歴：羽 伸ばせない」	共	2017年4月3 日	全国舞踊コンクール	指導した作品「検索履歴：羽 伸ばせない」（武庫 川女子大学ダンス部S）が、全国舞踊コンクール群舞 部で第2位を受賞した。
8. 「親指は出張中」	共	2016年9月18 日	第19回少人数による創 作ダンスコンクール A RTISTIC MOVEMENT IN T OYAMA 2016	指導した作品「親指は出張中」（武庫川女子大学ダ ンス部）が特別賞を受賞した。
9. 「Checkmate」	共	2016年3月26 日	全国舞踊コンクール	指導した作品「Checkmate」が全国舞踊コンクール群 舞の部で入賞1位を受賞した。
10. 「レ・ミゼラブル」	共	2016年3月24 日	兵庫県立芸術文化セン ター中ホール	ヴォイスアーツ主催の演奏会形式「レ・ミゼラブル」 公演の振付を担当した。 振付：村越直子、東出益代
11. 「枯れるために咲く」	共	2015年9月12 日	第18回少人数による創 作ダンスコンクール A RTISTIC MOVEMENT IN T OYAMA 2015	指導した作品「枯れるために咲く」[武庫川女子大学 ダンス部] が特別賞を受賞した。
12. 「Four Horsemen Project」サウ ンド・デザイン・作曲部門 最優 秀賞受賞	共	2015年6月22 日	2015 Dora Mavor Moore Award (Canada)	2015 Dora Mavor Moore Award, General Theatre 部 門においてOutstanding Sound Design/Composition 賞にノミネートされ、キャストとして受賞。Rafael Barreto-Rivera, Paul Dutton, Steve McCaffery & bpNichol, Bill Brennan, Graham Hargrove, John Millard, Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko M urakoshi and Andrea Nann.
13. 「Four Horsemen Project」、パ フォーマンス部門 最優秀賞ノミ ネート	共	2015年6月	2015 Dora Mavor Moore Award (Canada)	2015 Dora Mavor Moore Award, General Theatre部 門において Outstanding Performance -Ensemble賞 にノミネートされた。 Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Nao ko Murakoshi and Andrea Nann

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
14. 「くるみ割り人形」	共	2015年3月7日8日	宮っこ親子コンサート 西宮市フレンテホール 甲子園会館音楽会 武庫川女子大学甲子園会館	音楽学部応用音楽学科による、コンサート形式の「くるみ割り人形」第2幕のダンス振付を担当した。振付：村越直子、東出益代
15. 「きこえていますか ～Voices from Hades～」	共	2015年11月6日～8日	10th Anniversary REVE RBdance Festival, Baruch Performing Arts Center, New York, USA	指導した作品「きこえていますか ～Voices from Hades～」(武庫川女子大学ダンス部)がREVE RBdance フェスティバルに招聘を受け、参加した。
16. 「胡桃の音」	共	2014年9月14日	第17回少人数による創作ダンスコンクール ARTISTIC MOVEMENT IN TROYAMA 2014	指導した作品「胡桃の音」(武庫川女子大学ダンス部)が特別賞を受賞した。
17. 「Four Horsemen Project」	共	2014年11月6日～11月22日	Soulpepper Theatre Company	Toronto の劇団Volcano の作品にダンス・パフォーマーとして出演した。 会場：Young Centre for the Performing Arts, トロント (カナダ) 演出：Ross Manson 振付：Kate Alton Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi, Andrea Nann
18. 「Four Horsemen Project」	共	2014年10月28日～11月2日	East Cultural Centre	Toronto の劇団Volcano の作品にダンス・パフォーマーとして出演した。 会場：East Cultural Centre、バンクーバー (カナダ) 演出：Ross Manson 振付：Kate Alton Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi, Andrea Nann
19. 「nothing- weight -light」	単	2011年3月18日～21日	Dai Don Den 3	会場：Winchestr Street Theatre, トロント (カナダ) 音楽：Sarah Shugarman 照明：Ron Snippe 主催：Green Tea Dance Collective
20. 「Untitled」	単	2011年3月12日～14日	Older and Reckless	自作自演ソロを3月12日から14日まで公演発表した。 会場：Dancemakers Studio, トロント (カナダ) 音楽：Sarah Shugarman 照明：Ron Snippe 主催：MOonhORsE Dance Theatre
21. 「未来への雫。」	単	2011年10月	神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻第3回卒業公演	神戸女学院大学舞踊専攻第3期生に「未来への雫。」を振付し、発表した。 会場：芦屋市民センター ルナ・ホール
22. 「Four Horsemen Project」	共	2009年7月	Poesiefestival Berlin 2009	Toronto の劇団Volcano の作品にダンス・パフォーマーとして出演した。 会場：Kesselhaus, ベルリン (ドイツ) 演出：Ross Manson 振付：Kate Alton Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi, Andrea Nann
23. 「10～」	単	2009年2月	神戸女学院大学音楽学部第2回公演	神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻に、舞踊作品「10～」を振付し発表した。 会場：神戸女学院大学エミリー・ブラウン館
24. 「空 ( ) Magical Unicorns」	単	2009年12月	神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻第1回卒業公演	神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻第1回卒業公演に、「空 ( ) Magical Unicorns」を振付した。 会場：芦屋市民センター ルナ・ホール
25. 「Four Horsemen Project」	共	2008年9月	Dublin Fringe Festival	Toronto を拠点にする劇団Volcano の作品にダンスアーティストとして出演した。 会場：Project 2, ダブリン (アイルランド) 演出：Ross Manson 振付：Kate Alton Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi, Andrea Nann
26. 「Four Horsemen Project」	共	2008年6月	Thousand Islands Playhouse	Toronto を拠点にする劇団Volcano の作品にダンスアーティストとして出演した。 会場：Firehall Theatre, ガナノクエ (カナダ) 演出：Ross Manson 振付：Kate Alton Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi, Andrea Nann
27. 「La Loba」	単	2008年3月	兵庫県洋舞家協会主催洋舞スプリングコンサート	「La Loba」を振付。ダンサー：文山絵真 音楽：Sarah Shugarman 会場：神戸オリエンタル劇場
28. 「Four Horsemen Project」	共	2008年1月	PuSh international Festival	劇団Volcano作品「Four Horsemen Project」のパフォーマーとして、バンクーバーで毎年行われる国際演劇フェスティバルに参加、出演した。 会場：Push Festival, バンクーバー (カナダ) 演出：Ross Manson 振付：Kate Alton Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi, Andrea Nann

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
29. 「Four Horsemen Project」	共	2008年1月	Metro Centre	トロントの劇団Volcanoの作品にダンス・パフォーマーとして出演した。 会場：Metro Centre, ビクトリア（カナダ） 演出：Ross Manson 振付：Kate Alton Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi, Andrea Nann
30. 「Four Horsemen Project」	共	2007年3月	Great Canadian Theatre Company	Toronto を拠点にする劇団Volcano の作品にダンスアーティストとして出演した。会場：Great Canadian Theatre Company, オタワ（カナダ） 演出：Ross Manson 振付：Kate Alton Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi, Andrea Nann
31. 「Class at 6 pm: Demonstration: Graham Technique」	単	2007年2月14日～2月18日	神戸女学院大学音楽学部舞踊専攻第1回公演	マーサ・グラハムの技法をもとに、基本エクササイズのパフォーマンスを構成・振付した。音楽：Sarah Shugarman 会場：神戸女学院大学ミリアム館ダンス・スタジオ 主催：神戸女学院大学音楽学部
32. 「Four Horsemen Project」	共	2007年2月	主催：Theatre Volcano, Theatre Centre	Toronto を拠点にする劇団Volcano の作品にダンスアーティストとして出演した。 会場：Theatre Centre, トロント（カナダ） 演出：Ross Manson 振付：Kate Alton Performers: Jennifer Dahl, Graham Mckelvie, Naoko Murakoshi, Andrea Nann
33. 「Cold Night」	共	2006年7月	Dance Meeting Collection #6	カナダの振付家、Sasha Ivanochko 作品にダンサーとして出演した。 振付：Sasha Ivanochko ダンサー：Sasha Ivanochko, 村越直子 会場：愛知県芸術文化センター
34. 「Eyes of Witch (魔女の瞳)」	単	2006年3月16日～3月18日	Dai Don Den 2	トロント在住の和太鼓奏者Kiyoshi Nagata氏との共同制作。日本からダンサーの明尾真弓氏を招聘し、カナダ人ダンサーDanielle Baskervilleとのデュエットを創作、発表した。 会場：Winchester Street Theatre, Toronto 主催：Green Tea Dance Collective 助成：Ontario Arts Council, Toronto Arts Council, Laidlaw Foundation, Japan Foundationトロント文化センター
35. 「String Quartet No.1」	単	2005年12月	Via Salzburg	トロント在住のバイオリニスト、Mayumi Seiler氏からの委嘱により、ペンデレツキー作曲の弦楽四重奏に振付し、発表した。 ダンサー：Bill Coleman, Naoko Murakoshi 会場：Glen Gould Studio, Toronto 主催：Via Salzburg
36. 「1980年2月22日の日記より～"Cammellia"」	単	2004年8月13日	全国合同バレエの夕べ	日本バレエ協会東北支部からの委嘱作品。 ダンサー：日本バレエ協会東北支部会員25名 会場：新国立オペラ劇場 主催：社団法人 日本バレエ協会
37. 「Yamato Nadeshiko - Sakura Version (大和撫子～さくら編)」	単	2004年8月13日～8月14日	Dai Don Den	北米人の持つ日本人女子のイメージと、現代の日本人女子の言動のギャップを表現した作品。 ダンサー：松浦文子、森田真由子 会場：Winchester Street Theatre, Toronto 主催：Green Tea Dance Collective
38. 「未来からの伝言」	共	2004年7月	Dance Meeting Collection #5	振付：秀和代、Graham Mckelvie, 村越直子 会場：愛知県芸術文化センター 主催：ヒデ・ダンスラボラトリー
39. 「Epitaph under thousands of petals」	単	2003年7月26日	Converging Streams: Haiku	18世紀の俳人大島蓼太の句"silent communion between the guest, the host and the white chrysanthemum(ものいわず 客と 亭主と 白菊と)"を題材に4人の振付家が作品を発表する企画に委嘱を受けた。 ダンサー：Carly Wong, Naoko Murakoshi 会場：Trinity St. Paul Center, Toronto 主催：Wu Ming Dance Project 助成：Laidlaw Foundation
40. 「her silence, softly breaks...」	単	2003年11月28日～11月30日	An Evening of Modern Dance Works	M. Nourbese Philip の詩、"She tries her tongue, her silence softly breaks"からインスピレーションを得た作品。 ダンサー：Keiko Kitano, Kathleen Martinez, Mayuko Morita, Mary-jo Mullins, Carly Wang 主催：Aurora Dance 会場：The Distillery, Dancemakers Studio Theatre, Toronto  2004年8月18日～22日に、fFIDA (フリンジ国際ダンスフェスティバル) に招聘を受け、Mainstage で再演された。 会場：Winchester Street Theatre, Toronto

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
41. 「Kizuna」	共	2002年8月	fFIDA (フリンジ国際ダンスフェスティバル)	秀和代、Graham Mckelvieとの共同振付作品をトロントで開催されたフリンジ国際ダンスフェスティバルに出品した。 上演作品のなかで、とくに芸術性に優れた創作作品としてPaula Citron賞を受賞した。 振付：秀和代、Graham Mckelvie、 <u>Naoko Murakoshi</u> 会場：Baddies and Bad Times Theatre, Toronto 主催：fFIDA
42. 「Esperanza」	共	2002年5月	Esperanza	トロントのダンサーアーティスト、Patricia Beattyの新作にダンサーとして出演した。 振付：Patricia Beatty ダンサー：Allen Kaeja, Graham Mckelvie, <u>Naoko Murakoshi</u> , Andrea Nann, Dan Wild, Carly Wang 会場：Baddies and Bad Times Theatre, Toronto
43. 「奇妙な男のワルツ」	共	2002年10月	Dance Meeting Collection #4	名古屋在住の舞踊家、秀和代氏、トロント在住の舞踊家Graham Mckelvie氏との共同制作による作品を発表した。 振付：秀和代、Graham Mckelvie、 <u>村越直子</u> 主催：ヒデ・ダンスラボラトリー 会場：名古屋市芸術創造センター
44. 「Allegro 108」	共	2001年9月	Acceleration	振付家Kate Alton と演出家Ross Manson の共作による作品Allegro 108にパフォーマーとして出演した。 パフォーマー：Jennifer Dahl, Michael Sean Marye, <u>Naoko Murakoshi</u> , Andrea Nann 会場：Dancemaker's studio Theatre, Toronto Market Hall, Peterborough 主催：Overall Dance
45. 「Hand」	単	2001年8月16日～8月19日	fFIDA mainstage	作曲家・ヴァイオリニストのPaul Meyer 氏にオリジナル音楽を依頼して創作を行い、発表した。 ダンサー：Ray Hogg, Jessica Runge 会場：Buddies and Bad Times Theatre, Toronto 主催：fFIDA international Dance Festival 助成：Laidlaw Foundation
46. 「Four Hymns」 「Intervallo」	共	2001年5月	Openears Concert	David Earle 振付作品「Four Hymns」、及び D.A. Hskins 振付作品「Peri Intervallo」2つの新作にダンサーとして出演した。 会場：The Resistry Theatre, Kitchener 主催：Openears
47. 「Soul Map」	共	2000年8月	fFIDA 国際ダンスフェスティバル	トロントの振付家Pascal Desrosiersの作品にダンサーとして出演した。 ダンサー：Pascal Desrosiers, <u>Naoko Murakoshi</u> 会場：Baddies and Bad Times Theatre, Toronto 主催：fFIDA
48. 「Tatsu」	共	2000年7月20日	Dance Meeting Collection #3	名古屋の舞踊家、秀和代氏との共同作品を発表した。 振付、ダンサー：秀和代、 <u>村越直子</u> 、Graham Mckelvie 会場：愛知芸術文化センター 主催：ヒデ・ダンス・ラボラトリー
49. 「Kite」 「Suspended Seasons」	共	2000年6月	Spring Rite	トロントの振付家による公演において、Sasha Ivanchko振付のソロ作品「Kite」、及び、Patricia Beatty 振付作品「Suspended Season」にダンサーとして出演した。 会場：Premiere Dance Thatre, Toronto 主催：Spring Rite
50. 「ファウストの劫罰」	共	1999年9月	サイトウ・キネン・フェスティバル	サイトウ・キネン・フェスティバルのオペラ「ファウストの劫罰」にダンサーとして出演した。 会場：松本文化会館 演出：Robert Lepage 振付：Johanne Madore ダンサー：ジョアン・マードル/キャロル・クーフトワ/サラ・ウィリアムズ/ジュリー・スレイター/安藤洋子/明尾真弓/上村なおか/大久保真貴子/小淵博美/金光弥耶/佐藤美紀/村越直子
51. 「Time moveing across the memory」	共	1999年6月18日～6月20日	Selene ~A feast for senses~	トロント在住の美術家、Michiko Nakamura氏による舞台美術との共同制作を行い、発表した。 振付： <u>Naoko Murakoshi</u> 、舞台美術：Michiko Nakamura ダンサー：佐々木想美、Grace Miyagawa, Keiko N. Naoko Murakoshi 会場：Winchester Street Theatre, Toronto 助成：Japan Foundation
52. 「Silver Castle」	単	1999年5月20日～5月23日	Seven people for Seven pieces	7人のダンサーによる競演パフォーマンスにソロ作品を創作し、発表した。 ダンサー：Mary-josee Dubois 会場：Winchester Street Theatre

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
53. 「白昼夢」	共	1998年7月17日	Dance Meeting Collection #2	主催：7 for 7 助成：Toronto Art Council, Laidlaw Foundation, The Mclean Foundation 名古屋在住の舞踊家、秀和代と美術家渡辺るり子氏との共同制作作品に招聘を受け、作品を手掛けた。 振付：秀和代、 <u>村越直子</u> ダンサー：ヒデ・ダンスラボラトリー 美術：渡辺るり子 会場：愛知芸術文化センター
54. 「鍵」	単	1998年6月18日 6月20日	Salon de Gold	ダンサー：佐々木想美、Graham Mckelvie, 村越直子 会場：Yellow (18日)、スパイラルホール (20日) 主催：Salon de Gold
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 「大地と空間と身体を回るカーダンサーたちの研究と実践」	共	2019年5月18日	武庫川女子大学生生活美学研究所 第1回定例研究会、およびワークショップ	ダンサーたちの研究と実践に着目したワークショップと研究会を同時開催し、コーディネーター・司会として参加した。ワークショップの講師に、お茶の水女子大学講師、橋本有子氏、定例研究会に神戸大学准教授の関典子氏を招いた。指定討論者として、京都造形芸術大学舞台芸術研究センター主任研究員である、山田せつ子氏の登壇いただき、会の終わりにはテーマについて、ダンサー・研究者として立場から、登壇した講師、来場者たちとともに議論を深めあった。
2. 「モーション・クオリア」研究～自由落下による必然的な動きと表現～	共	2019年02月03日	京都造形芸術大学舞台芸術センター公募研究事業	研究分担者として、研究発表会にパネリスト、研究発表者として登壇した。
3. 「一器多用性の美学 ー日本のくらしとからだをわがを体験しようー」	共	2018年06月16日	武庫川女子大学生生活美学研究所 生活美学ワークショップ	大谷大学特別契約教授原田奈名子氏による一般対象向けの公開ワークショップを企画・開催した。
4. 「動きの瞬間を捉える」		2017年5月20日	武庫川女子大学生生活美学研究所	ダンス教育に影響を与えたラバン・ムーブメント・アナリシスの認定指導者である橋本有子氏を招いて、動きの質についての講演会を企画した。指定討論者に舞踊教育専門の原田奈名子教授（京都女子大）と幼児教育・ダンスセラピー専門の崎山ゆかり准教授を招いて研究討論した。
5. Body and Earth	共	2017年	Body and Earth <a href="http://www.body-earth.org/translations/">http://www.body-earth.org/translations/</a>	ダンスアーティストであり、 <i>Body Stories</i> (1998)、 <i>Body and Earth</i> (2002) の著者であるAndrea Olsen氏による、ソマティック・レッスンのウェブサイト版の翻訳を共同で行った。 訳：橋本有子、 <u>村越直子</u> 、山田知世
6. 「からだとイメージで遊ぶーMovement Researchー」		2016年9月10日	武庫川女子大学生生活美学研究所 生活美学ワークショップ	元バットシェバ舞踊団プリンシパルダンサーであり、Gaga教師のシャハー・ビンヤミニ氏による一般対象向けの公開ワークショップを企画・開催した。
7. 「素の美 ー日本人の美意識ー」		2015年11月21日	生活美学研究所 平成27年度秋季シンポジウム	生活美学研究所 秋季シンポジウム「素の美ー日本人の美意識ー」の総合司会を務めた。
8. 「コンテンポラリー・ダンス。きらめく身体。」		2014年9月20日	生活美学研究所2014年度第2回定例研究会	生活美学研究所定例研究会にイスラエルの元バットシェバ舞踊団団員で、Gaga教師であるShahar Binyamini氏を招き講演会を開催した。その討論会の司会を務めた。
9. 「身体、舞踊、トランスーバリ島、里の祭祀を考えるー」		2014年3月1日	生活美学研究所2013年度第6回定例研究会	生活美学研究所定例研究会に舞踊批評家、慶応義塾大学名誉教授である石井達朗氏を招いて講演会を開催した。また、討論会の司会を務めた。
10. 「Introduction to Japanese Contemporary Dance and Dancers」の講演	単	2011年3月8日	国際交流基金 トロント日本文化センター	日本のコンテンポラリーダンスの現状や特性についての講演をした。 共催：国際交流基金トロント日本文化センター、Green Tea Dance Collective in Toronto
11. シンポジウム「ダンス×地域×大学より ダンス甲東園を目指して」		2010年	財) 地域創造助成企画、双葉化学商会	財) 地域創造助成企画 公共ホール現代ダンス活性化事業にパネラーとして参加。
12. 音楽家の為の姿勢法	単	2007年	神戸女学院大学音楽学部	アレクサンダー・テクニックや、ミツヴァ・テクニックなどの姿勢法についての講義を、とくに音楽家の姿勢に焦点をあてて行った。 会場：神戸女学院大学合奏室
13. 姿勢について	単	2006年12月	神戸女学院大学同窓会めぐみ会講演会	姿勢について、神戸女学院大学同窓生に向けた講義を、ミニレッスンを交えて行った。
14. CJ8 Canada/Japan Partnership	共	2000年～2001年	カナダ/日本 ダンスプロジェクト実行委員会	日本とカナダの振付家8名が互いに相手国のダンサーに振付を行い、両国で公演ツアーを行うプロジェクトにおいて、リハーサルディレクターを務めた。 公演地は、オタワ・トロント・バンクーバー・モントリオール・東京・名古屋・京都の計7都市で行われた。
15. [				



研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
1. ソマティクスの実践・研究動向の海外調査、およびその基礎的・本質的概念の抽出と検討	共	2020年～2023年	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) (一般)	日本において注目されつつあるソマティクスは、国内研究者がまだまだ少数であり、分野を超えて思考し実践を共有する現状に至っていない。よって、その中心概念の解釈や実践方法に微妙な違いが見られる。そのため本研究では、領域を牽引してきた米国在住のソマティクス研究・実践者5名のインタビューを通して、ソマティクスの基盤となる基礎的・本質的概念を明らかにし、日本語で文献を作成する。研究代表者：村越直子(武庫川女子大学)、研究分担者：橋本有子(お茶の水女子大学) 課題番号20K11500
2. 「モーション・クオリア」研究～自由落下による必然的な動きと表現～	共	2018年4月～2019年3月	<舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点> 共同研究プロジェクトの公募事業 2018年度京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター オープンラボラトリー	本研究は、シディ・ラルビ・シェルカウイ、オハッド・ナハリン、マツ・エックといった数々の振付家と協働しており、国際的に活躍中の工藤聡氏を招聘し、《シンポジウム》《実践分析》《劇場実験》といった多角的なアプローチを通して、この独自性と可能性に満ちた「モーション・クオリア」の解明する。そして、舞踊や振付の概念そのものについての再考を図る。さらに、複数年度にわたる継続研究を実施を目指し、作品創造および劇場の新たな社会機能の発見に資することを目的とする。 研究代表者：関典子(神戸大学) 研究分担者：工藤 聡(在スウェーデン、演出・振付・舞踊家)、海野敏(東洋大学)、坂口 勝彦(早稲田大学理工学術院) 村越直子(武庫川女子大学)
3. ダンス教育で育てるからだを問う～ソマティクスとボディ・ワークのかかわりから	共	2017年04月から	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 基盤研究(C) (一般)	ダンス、表現運動の指導のむずかしさは議論されてきた。本研究は「表現運動・ダンス領域でどのような「からだ」を育てようとするのか」について、ソマティクスの思想とボディ・ワークの技法をもとに問い直すことを目的としている。代表：原田奈名子(京都女子大) 分担：大橋奈希左(上越教育大)、村越直子(武庫川女子大)の共同研究。 研究分担者として、臨床教育学の立場から舞踊教育とソマティクス及びボディワークの分野を担当する。

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2017年9月～現在	日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部門 舞踊研究会
2. 2015年12月	第67回舞踊学会大会 実行委員
3. 2014年4月～現在	日本女子体育連盟 特別会員
4. 2014年04月～現在	International Association for Dance Medicine and Science
5. 2012年4月～現在	日本臨床教育学会
6. 2012年～現在	舞踊学会
7. 1992年～現在	Dancer Transition Resource Centre